

# トンボの楽園ハンドブック

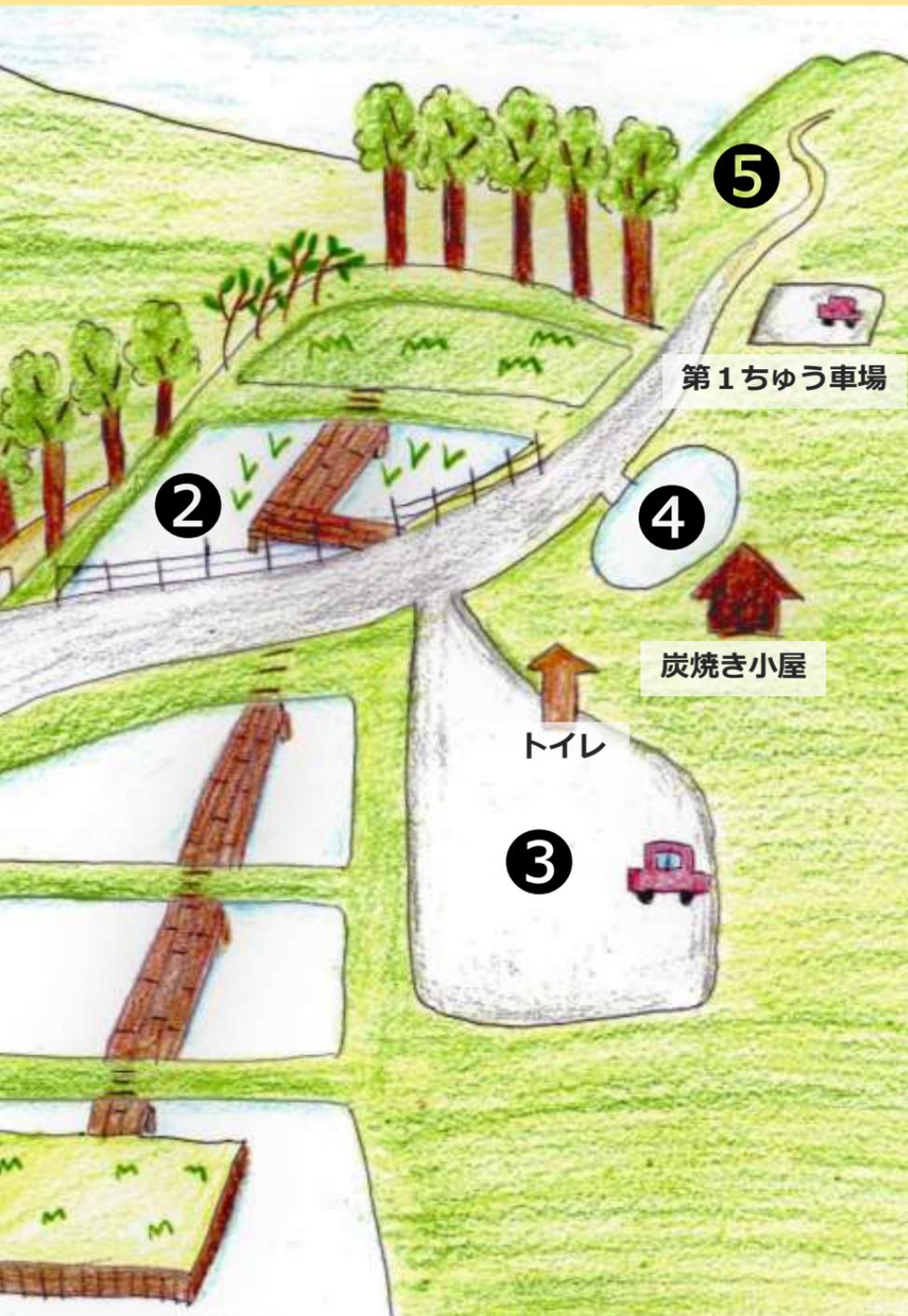


石川県立大学ビオトープ研究会

# 〈滝ヶ原マップ〉

- ① トンボビオトープA
- ② トンボビオトープB
- ③ 第2 ちゅう車場
- ④ カエル池
- ⑤ 林道（登山道）
- ⑥ 川





# 〈生き物のすんでいる場所〉



① トンボビオトープA



② トンボビオトープB



③ 第2 ちゅう車場



④ カエル池



⑤ 林道 (登山道)



⑥ 川

## 〈この本に出てくる言葉の説明〉

ビオトープ：生き物がいる場所

♂・♀　　：♂はオス（男の子）  
          ♀はメス（女の子）

なわばり　：他のなかまから守っている  
          自分のための場所

さんらん　：たまごをうむこと

こうび　　：子どもを作るための行動

こん虫　　：体が頭・むね・はらに  
          分かれていて、むねに  
          6本のあしをもつ虫

しょっかく：こん虫の頭にある  
          においをかいだり、  
          ものにさわったりする  
          ための体の部分

# 〈この本の使い方〉

アカハライモリ



①

イモリ科



②

全身まっ黒に見えるが、おなかは赤色と黒色のまだら模様をしている。昼間は水の中の草かげなどにかくれている。あみで草やどろをすくうと見つかる。

③



⑤

大きさ

⑥

♂♀ 70 ~ 140 mm

見られる場所

⑦

トンボピオトープ②

見られる季節

⑧

春 夏 秋 冬

④

## ① 名 前

ドクロマークはどくがあるものです  
見つけてもさわらないようにしましょう

## ② 写 真

一部はつかまえてさつえいしました

## ③ 生き物の説明

見た目、生活の特ちょうなどが書かれています

## ④ メモ

見つけた場所の特ちょうや気づいたこと  
を書こう

## ⑤ めずらしさ

★～★★★★まであります

★が多いほど見つかりにくい

## ⑥ 大きさ

はかり方は生き物によってちがいます  
くわしくは次のページを見よう

## ⑦ 見られる場所

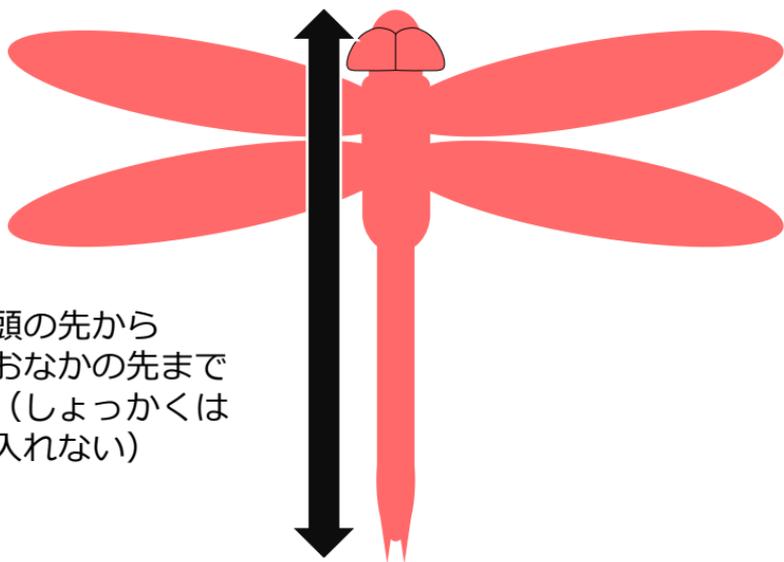
その場所またはその近くでよく見られます  
地図と合わせて見よう

## ⑧ 見られる季節

太字になっている季節がよく見られます  
別の季節に見られることもあります

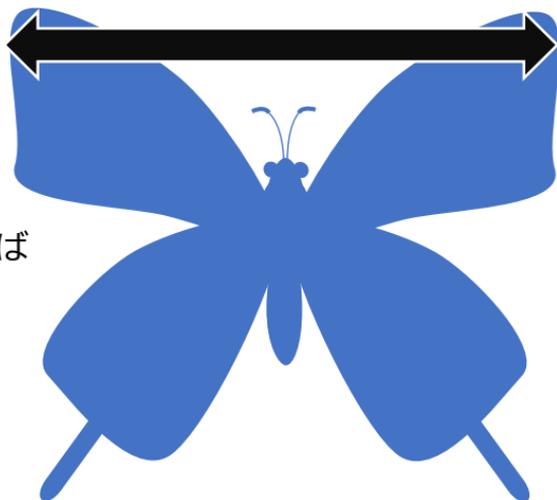
# 〈体の大きさの見方〉

## チョウ以外の昆虫



頭の前から  
おなかの前まで  
(しよっかくは  
入れない)

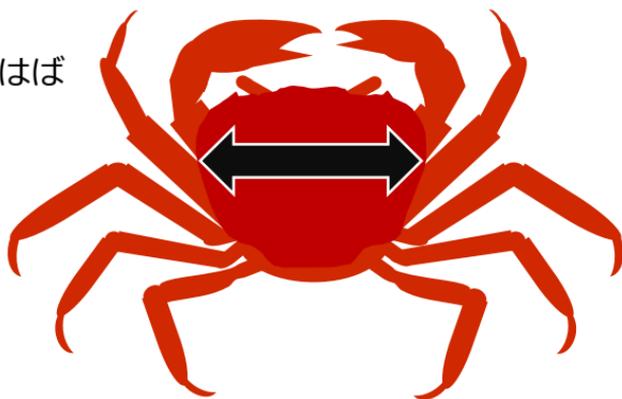
## チョウ



はねのはば

## カニ

こうらのはば



## カエル

頭の前からおしりの先まで



## トカゲ・ヘビ・サカナ

頭の前からしっぽの先まで



# 〈観察する時の服そう〉



## ぼうし

熱中症  
(ねっちゅうしょう) に  
ならないために、  
**ぼうし**をかぶろう！

## 長そで・長ズボン

生き物にかまれたり  
草や木でかぶれたり  
しないように、  
**長そで・長ズボン**を  
着よう！  
黒っぽい服は  
着ないようにしよう！

## 歩きやすいくつ

山は地面がでこぼこした所が多いよ。  
足が痛くなったり、転んだりしないよう  
**歩きやすいくつ**をはこう！

# 〈観察の時のルール・マナー〉

- 生き物はやさしくつかまえよう！
- 観察が終わったらにがしてあげよう！
- 生き物にさわった後は手をあらおう！
- 草花を観察する時は引きぬかないで観察しよう！
- あぶない生き物には近づかない。  
(ハチ、ヘビ、毛虫など)
- 生き物は持ち帰らない。
- 他の場所から生き物を持ちこまない。  
(日本の生き物でもほかの場所から持ち込むのはダメ！例：メダカ)
- 動物を見つけてもエサをあげない。
- 一人だけで行動はしない。
- 他の人に会ったらあいさつをしよう！
- ごみは持ち帰ろう！

# アオイトトンボ

アオイトトンボ科



目と体の色は♂は水色で、  
♀は緑色である。  
ビオトープの植物の周りで、  
よく見られる。光の当たり  
方によって、体がほう石の  
ようにかがやく。



## 大きさ

♂ ♀ 34 ~ 48 mm

## 見られる場所

トンボビオトープA

## 見られる季節

春 夏 秋 冬

# オオアオイトトンボ

アオイトトンボ科



アオイトトンボににているが、おなかの先っぽのみが、白いため区別できる。

見られる場所は林やササやぶなどの暗めなところで、植物にぶら下がっている。



## 大きさ

♂ 40 ~ 55 mm

♀ 40 ~ 50 mm

## 見られる場所

トンボビオトープA

## 見られる季節

春 夏 **秋** 冬

# カワトンボのなかま

カワトンボ科



体は緑色だが、はねの色は一匹ごとにちがうことが多い。アサヒナカワトンボと二ホンカワトンボは区別がむずかしいため、この本ではまとめました。



## 大きさ

♂ 43 ~ 66 mm  
♀ 42 ~ 58 mm

## 見られる場所

川

## 見られる季節

春 夏 秋 冬

# ミヤマカワトンボ

カワトンボ科



茶色のはねにキラキラ光る  
体が美しい。川辺で光に  
照らされながら飛ぶ様子は、  
とてもきれいである。  
動きはおそいため、  
つかまえるのはかんたん。



## 大きさ

♂ 65 ~ 80 mm  
♀ 63 ~ 77 mm

## 見られる場所

川

## 見られる季節

春 夏 秋 冬

# キイトトンボ

イトトンボ科



♂は緑色のむねと黄色のおなかがきれいな体。♀はおなかも緑色。ビオトープの周りにある植物に止まることが多い。上下にゆれながら飛ぶすがたはかわいい。



## 大きさ

♂ 31 ~ 44 mm  
♀ 33 ~ 48 mm

## 見られる場所

トンボビオトープB

## 見られる季節

春 **夏** 秋 冬

# オオイトトンボ

イトトンボ科



♂は頭や体が青色で、  
♀は緑色をしている。  
ビオトープでよく見られる。  
小さい虫は、顔やもようを  
見るのがむずかしい。  
つかまえてよく見てみよう。



## 大きさ

♂ 27 ~ 38 mm

♀ 28 ~ 42 mm

## 見られる場所

トンボビオトープA

## 見られる季節

春 夏 秋 冬

# ムカシトンボ

ムカシトンボ科



うすいはい色の目に黒色と黄色のしまもようをもつ。両目の間にある角のようなでっぱりがカッコいい。小さい上に数も多くないためなかなか見つからない。



## 大きさ

♂ 48 ~ 56 mm  
♀ 45 ~ 53 mm

## 見られる場所

トンボビオトープB

## 見られる季節

春 夏 秋 冬

# オオルリボシヤンマ

ヤンマ科



ルリボシヤンマよりも青色がこく、むねのもようがちがう。広いはんいを飛び回るため、つかまえにくい。同じ場所でまちぶせするのがつかまえるコツ。



## 大きさ

♂ 76 ~ 94 mm

♀ 76 ~ 93 mm

## 見られる場所

トンボビオトープA

## 見られる季節

春 夏 秋 冬

# ルリボシヤンマ

ヤンマ科



黄色いむねの線と青色の目がよく目立つ。ときどき空中で止まりながらなわばりを見回しするため、そこがつかまえるチャンス。ねばり強く待ってみよう。



## 大きさ

♂ 75 ~ 90 mm  
♀ 68 ~ 86 mm

## 見られる場所

トンボビオトープA

## 見られる季節

春 **夏** 秋 冬

# ギンヤンマ

ヤンマ科



頭とむねの緑色がきれいなトンボ。おなかのつけ根は銀色で、金ぞくのように光って見える。なわばりをめぐって、他のトンボとはげしく争うことがある。



**大きさ**

♂ 67 ~ 83 mm

♀ 65 ~ 84 mm

**見られる場所**

トンボビオトープA

**見られる季節**

春 **夏** 秋 冬

# クロスジギンヤンマ

ヤンマ科



ギンヤンマとにているが  
目が青色で、むねの黒い  
すじがあるため区別できる。  
暗い色が多く、かっこいい。  
ギンヤンマよりも早い時期  
に見られる。



## 大きさ

♂ 68 ~ 87 mm  
♀ 64 ~ 81 mm

## 見られる場所

トンボビオトープB

## 見られる季節

春 夏 秋 冬

# コオニヤンマ

サナエトンボ科



オニヤンマとにているが、  
両方の目がくっついていない、  
むねの黄色のもようが大きいことから  
区別できる。体の大きさに対し、  
頭が小さく足が長い。



## 大きさ

♂ 81 ~ 93 mm  
♀ 75 ~ 90 mm

## 見られる場所

トンボビオトープA

## 見られる季節

春 夏 秋 冬

# ムカシヤンマ

ムカシヤンマ科



体や目の色が、他のトンボより暗くてカッコいい。ビオトープではほとんど見られず、川辺や林道などで、まれに見られる。日本にだけにすんでいる。



## 大きさ

♂ 64 ~ 78 mm

♀ 63 ~ 80 mm

## 見られる場所

川

## 見られる季節

春 夏 秋 冬

# オニヤンマ

オニヤンマ科



黄色と黒色のしまもようをもつ。日本最大のトンボ。とてもすばやく飛ぶため、つかまえるのはむずかしい。つかまえることができれば、一人前のトンボハンター！



## 大きさ

♂ 82 ~ 103 mm  
♀ 91 ~ 114 mm

## 見られる場所

トンボビオトープA

## 見られる季節

春 夏 秋 冬

# アキアカネ

トンボ科



♂は茶色のむねだが、  
♀はむねが黄色になる。  
赤とんぼとして親しまれて  
いる。10月の始めには  
たくさん見られ、まさに  
トンボの楽園だ。



## 大きさ

♂ 32 ~ 46 mm

♀ 33 ~ 45 mm

## 見られる場所

トンボビオトープA

## 見られる季節

春 夏 **秋** 冬

# コノシメトンボ

トンボ科



♂は真っ赤な体とこげ茶色のはねの先がオシャレ。  
♀は体が茶色。むねに「コ」の字に見える黒い線がある。アキアカネよりも早い時期から見られる



## 大きさ

♂ 38 ~ 48 mm  
♀ 36 ~ 46 mm

## 見られる場所

トンボビオトープA

## 見られる季節

春 夏 秋 冬

# マユタテアカネ

トンボ科



まゆげのような顔のもようが名前の由来だが、鼻のあなにも見える。止まっていれば、他のトンボと区別しやすい。数が多く、かんたんにつかまえられる。



## 大きさ

♂ 31 ~ 43 mm

♀ 30 ~ 42 mm

## 見られる場所

トンボビオトープA

## 見られる季節

春 夏 秋 冬

# ハッチョウトンボ

トンボ科



一円玉くらいしかない日本で一番小さなトンボ。植物に止まっていることが多い。♀は体が黄色で黒色のまだらもようである。見つけても見るだけにしよう。



## 大きさ

♂ ♀ 17 ~ 21 mm

## 見られる場所

トンボビオトープB

## 見られる季節

春 夏 秋 冬

# ショウジョウトンボ

トンボ科



♂は頭の前からおなかまで赤色で、ルビーのように美しい。♀の体は黄色である。止まっている時におなかを立てることもある。目立つのですぐに見つかる。



## 大きさ

♂ 41 ~ 55 mm

♀ 38 ~ 50 mm

## 見られる場所

トンボビオトープA

## 見られる季節

春 夏 秋 冬

# ハラビロトンボ

トンボ科



名前のおとおり、おなかがおしつぶされたように広い。他のトンボより早く見られる。このトンボがすがたを消すころ、夏に見られるトンボたちが活動を始める。



## 大きさ

♂ 33 ~ 42 mm

♀ 32 ~ 39 mm

## 見られる場所

トンボビオトープA

## 見られる季節

春 夏 秋 冬

# シオカラトンボ

トンボ科



こい水色の目や白っぽい体が美しい。♀は体が黄色で、目が緑色に近い。よく見かけるため、こうびやなわばり争いもかんたんに観察することができる。



## 大きさ

♂ ♀ 47 ~ 61 mm

## 見られる場所

トンボビオトープA

## 見られる季節

春 夏 秋 冬

# シオヤトンボ

トンボ科



シオカラトンボとにているが、体が小さく、おなかの先が黒くないことで区別できる。ビオトープにたくさんいるため、よく観察して区別してみよう！



## 大きさ

♂ 40 ~ 49 mm

♀ 36 ~ 46 mm

## 見られる場所

トンボビオトープA

## 見られる季節

春 夏 秋 冬

# オオシオカラトンボ

トンボ科



シオカラトンボとにているが、目の色が黒っぽく、むねの青色がより目立つ。シオカラトンボにまざって飛んでいることがある。よく見くらべてみよう。



## 大きさ

♂ 49 ~ 61 mm

♀ 49 ~ 60 mm

## 見られる場所

トンボビオトープA

## 見られる季節

春 夏 秋 冬

# コカマキリ

カマキリ科



カマに白黒のもようがある。  
オオカマキリとくらべると  
かなり小さいが、これでも  
大人。はさまれても  
いたくない。勇気を出して、  
つかまえてみよう。



## 大きさ

♂ 36 ~ 55 mm  
♀ 46 ~ 63 mm

## 見られる場所

トンボビオトープB

## 見られる季節

春 夏 秋 冬

# オオカマキリ

カマキリ科



三角の頭に大きなカマが、  
特ちょう。カマにはさまれ  
ると、とてもいたい。頭が  
わのせなかの付け根を持て  
ば、はさまれにくい。草む  
らをさがしてつかまえよう。



## 大きさ

♂ 68 ~ 90 mm

♀ 75 ~ 95 mm

## 見られる場所

トンボビオトープB

## 見られる季節

春 夏 秋 冬

# オオコオイムシ

コオイムシ科



たまごがたの茶色い体で、前足がかまのようになっている。♂はたまごがかえるまでせおう。マツモムシと同じようにさすので気をつけよう。



## 大きさ

♂ ♀ 23 ~ 26 mm

## 見られる場所

トンボビオトープA

## 見られる季節

春 夏 秋 冬

# マツモムシ

マツモムシ科



黒色の体に黄色のもようがある。長い足でスイスイとせ泳ぎをして、いどうする。口がするどいはりのようで、気をつけてつかまないとさされてしまう。



## 大きさ

♂ ♀ 11.5 ~ 14 mm

## 見られる場所

トンボビオトープA

## 見られる季節

春 夏 秋 冬

# ナミアメンボ

アメンボ科



ひし形の体にとっても長い足をもつ。水面をすべるようにいどうする。

水面に落ちた虫を食べるためにたくさん集まっていることがある。



## 大きさ

♂ ♀ 11 ~ 16 mm

## 見られる場所

トンボビオトープA

## 見られる季節

春 夏 秋 冬

# ニワハンミョウ

オサムシ科



せなかの色は地味だが、おなかの色は青っぽく光り、とてもきれい。ただし、つかまえないと見えないため、気がつかれないようにゆっくり近づこう。



**大きさ**

♂ ♀ 15 ~ 18 mm

**見られる場所**

林道

**見られる季節**

春 夏 秋 冬

# ナミハンミョウ

オサムシ科



ハデな色で、よく目立つ。  
道路や林道で見られる。  
近づくとすぐに飛んで  
にげる。だが、遠くには  
飛ばず、近くの地面に  
おりるため見つけやすい。



## 大きさ

♂ ♀ 18 ~ 23 mm

## 見られる場所

林道

## 見られる季節

春 夏 秋 冬

# クロズマメゲンゴロウ

ゲンゴロウ科



全身黒色で丸い目が  
かわいいゲンゴロウ。  
水中の植物にかくれている  
ことが多いため、そこを  
あみでガサガサすると  
つかまえられる。



## 大きさ

♂♀ 9 ~ 11 mm

## 見られる場所

トンボビオトープA

## 見られる季節

春 夏 秋 冬

# ヒメゲンゴロウ

ゲンゴロウ科



茶色の体に黒い点を持ち、顔には特ちょう的な模様がある。ビオトープではよく見られる。足をばたつかせて、泳いでいるすがたの観察がおもしろい。



**大きさ**

♂ ♀ 11 ~ 12.5 mm

**見られる場所**

トンボビオトープA

**見られる季節**

春 夏 秋 冬

# クロアゲハ

アゲハチョウ科



黒色の大きな体をしている。モンキアゲハとにているが、白色のもようがないことで、区別できる。すばやく飛び回るため、じっくりと観察することがむずかしい。



**大きさ**

♂ ♀ 80 ~ 120 mm

**見られる場所**

第2 ちゅう車場

**見られる季節**

春 **夏** 秋 冬

# モンキアゲハ

アゲハチョウ科



黒色のはねに白色と赤色の  
もようを持つ。大きいため  
見つけるのはかんたん。  
飛ぶのが速いので追い  
かけてつかまえるのは大変。  
花に止まるときがチャンス。



**大きさ**

♂ ♀ 90 ~ 110 mm

**見られる場所**

第2 ちゅう車場

**見られる季節**

春 **夏** 秋 冬

# キアゲハ

アゲハチョウ科



黄色と黒色のはねに赤色と青色のもようがある。  
つかまえたときには、はねの付け根を持つようにしてあげよう。他の大きなチョウよりつかまえやすい。



## 大きさ

♂ ♀ 70 ~ 90 mm

## 見られる場所

トンボビオトープB

## 見られる季節

春 夏 秋 冬

# キタキチョウ

シロチョウ科



黄色いはねでビオトープの周りを飛んでいるため、よく目立つ。他のチョウよりも見られる時期が長い。花に止まっていたらみつをすう様子を観察してみよう。



## 大きさ

♂ ♀ 34 ~ 45 mm

## 見られる場所

トンボビオトープB

## 見られる季節

春 夏 秋 冬

# テングチョウ

タテハチョウ科



はねは茶色で、オレンジ色のもようを持つ。頭の形がてんぐの鼻ににている。林道でよく飛んでいる。地面に止まる時が観察するチャンス。



**大きさ**

♂ ♀ 40 ~ 50 mm

**見られる場所**

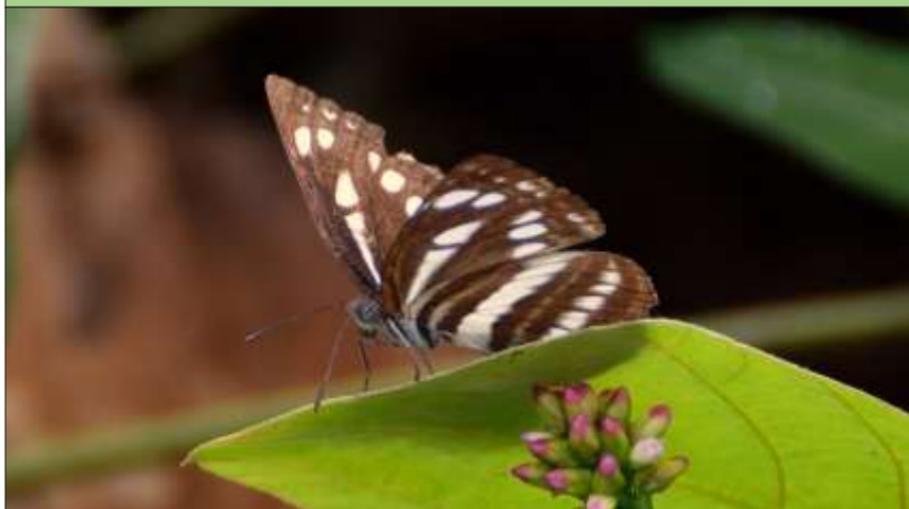
林道

**見られる季節**

春 夏 秋 冬

# コムスジ

タテハチョウ科



はねの表は白色と黒色の  
もようがある。うらは茶色  
と白色なため、はねを  
とじているときは別の  
チョウと誤ってしまいかも。  
もようをよく見てみよう。



**大きさ**

♂ ♀ 44 ~ 55 mm

**見られる場所**

林道

**見られる季節**

春 **夏** 秋 冬

# ルリタテハ

タテハチョウ科



青色のはねに白色と水色の  
もようを持つ。春の早い  
時期に見られる。

ビオトープで水を飲む時が  
観察しやすい。春以外だと  
見つけにくい。



**大きさ**

♂ ♀ 50 ~ 65 mm

**見られる場所**

トンボビオトープB

**見られる季節**

**春 夏 秋 冬**

# チャバネセセリ

セセリチョウ科



茶色でガのように見えるが、チョウの仲間。ビオトープの周りの花に止まっているのがよく見られる。花を見るときに、いっしょにさがしてみよう。



## 大きさ

♂ ♀ 27 ~ 36 mm

## 見られる場所

トンボビオトープB

## 見られる季節

春 夏 **秋** 冬

# キムネクマバチ

ミツバチ科



黄色のむねにずんぐりした体。体は大きいがスズメバチなどとはちがって、さすことはあまりない。しかし、見つけても遠くから見るだけにしておこう。



## 大きさ

♂ ♀ 23 mmぐらい

## 見られる場所

トンボビオトープB

## 見られる季節

春 夏 秋 冬

# くらかけ山について

くらかけ山は山の形が馬に付ける「くら」に  
にっていたことからくらかけ山と呼ばれるよう  
になりました。変わった形をしていたので、  
えど時代の海を旅する人たちは目印にして  
いたそうです。

高さは478 mの低い山で、かんたんに登る  
ことができます。

山のとっぺんからは、かが平野、日本海、  
白山を見ることができます。



鞍掛山の頂上からみた景色（日本海側）

# サワガニ

サワガニ科



きれいな水が流れているところにしか住めない。色は赤や茶色など。水辺の石をていねいにひっくり返していけば、見つかる。指をはさまれないように。



**大きさ**

♂ ♀ 25 mmぐらい

**見られる場所**

川

**見られる季節**

春 夏 秋 冬

# ホトケドジョウ

タニノボリ科



田んぼで目にするドジョウよりも体が短く、ひげが多い。昼間は、どろの中にもぐっているため、なかなか見つけれない。夜は元気に活動する。



**大きさ**

♂ ♀ 60 mmぐらい

**見られる場所**

トンボビオトープA

**見られる季節**

春 夏 秋 冬

# アカハライモリ

イモリ科



全身まっ黒に見えるが、おなかは赤色と黒色のまだらもようをしている。昼間は水の中の草かげなどにかくれている。あみで草やどろをすくうと見つかる。



## 大きさ

♂ 70 ~ 115 mm  
♀ 80 ~ 140 mm

## 見られる場所

トンボビオトープA

## 見られる季節

春 夏 秋 冬

# アズマヒキガエル

ヒキガエル科



体はゴツゴツとしていて、とても大きい。さんらんの時期以外はなかなか会うことができず、見られたらラッキー。はねることが苦手で、のそのそと歩く。



## 大きさ

♂ 43 ~ 161 mm  
♀ 53 ~ 162 mm

## 見られる場所

カエル池

## 見られる季節

春 夏 秋 冬

# ニホンアマガエル

アマガエル科



周りの色に合わせて、体の色を変える。緑色だけでなく他に茶色やはい色にもなる。鳴き声は「グエツグエツ」。昼よりも夜のほうがたくさん鳴いている。



## 大きさ

♂ 22 ~ 39 mm  
♀ 26 ~ 45 mm

## 見られる場所

トンボビオトープA

## 見られる季節

春 夏 秋 冬

# ニホンアカガエル

アカガエル科



体の色が赤色や茶色など、  
いっぴきごとにちがうので、  
くらべてみよう。ヤマアカ  
ガエルとにているが、  
せなかの線が曲がらない  
ことで、区別ができる。



## 大きさ

♂ 34 ~ 63 mm  
♀ 43 ~ 67 mm

## 見られる場所

林道

## 見られる季節

春 夏 秋 冬

# タゴガエル

アカガエル科



春のくらかけ山を登っていると聞こえる「グウッグウッ」という音は、このカエルの鳴き声。水が流れこむ岩のすきまなどにいる。鳴き声をたよりにさがそう。



## 大きさ

♂ 30 ~ 58 mm

♀ 31 ~ 54 mm

## 見られる場所

川

## 見られる季節

春 夏 秋 冬

# ヤマアカガエル

アカガエル科



茶色でかれ葉ににている。  
ニホンアカガエルと  
ちがって、せなかの線が目  
のあたりで曲がっている。  
人が近づくとはねてにげる  
ため、そこをつかまえよう。



## 大きさ

♂ 42 ~ 60 mm  
♀ 36 ~ 78 mm

## 見られる場所

林道

## 見られる季節

春 夏 秋 冬

# トノサマガエル

アカガエル科



♀と♂で体の色がちがい、  
♀は茶色っぽく、  
♂はより緑色っぽいものが多い。  
たくさんいるため、  
さがすのはかんたん。  
すばやくキャッチしよう。



## 大きさ

♂ 38 ~ 81 mm

♀ 63 ~ 94 mm

## 見られる場所

カエル池

## 見られる季節

春 夏 秋 冬

# モリアオガエル

アオガエル科



さんらんをする5月半ばが、さがしやすい。水辺の植物にあわを作り、たまごを産む。「カラララ」と鳴き、大合唱している様子は、夏が来たよと言ってるようだ。



## 大きさ

♂ 42 ~ 60 mm  
♀ 59 ~ 82 mm

## 見られる場所

カエル池

## 見られる季節

春 夏 秋 冬

# シュレーゲルアオガエル

アオガエル科



モリアオガエルににているが、目が黄色く、体が小さいことで区別できる。

「ピリリリ」と鳴き、まるで春が来たと言っているようだ。



## 大きさ

♂ 32 ~ 43 mm

♀ 43 ~ 53 mm

## 見られる場所

トンボビオトープB

## 見られる季節

春 夏 秋 冬

# カジカガエル

アオガエル科



「フィロロロ」と鳴き、その鳴き声はとても美しい。こわがりなせいかくで、体が石と似た色のため、なかなか見つけれない。石の上をさがしてみよう。



## 大きさ

♂ 37 ~ 44 mm  
♀ 49 ~ 69 mm

## 見られる場所

川

## 見られる季節

春 夏 秋 冬

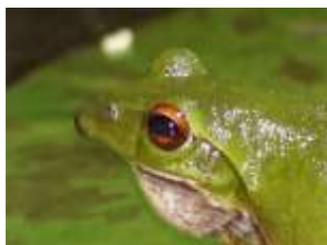
# カエルの見分け方

～カエルマスターになろう～



**ニホンアマガエル**

鼻先がまるっこく、顔に茶色のもようがある。体もほかのカエルよりも小さい。



**モリアオガエル**

鼻先がアマガエルよりもとがって、顔に茶色のもようがない。白目の部分が赤っぽい色。



**シュレーゲルアオガエル**

鼻先がアマガエルよりもとがって、顔に茶色のもようがない。白目の部分が黄色。



**ニホンアカガエル**

せなかの線が目の近くで曲がらず、まっすぐになっている。  
ヤマアカガエルとタゴガエルは線が曲がっている  
ので、一番わかりやすい



**ヤマアカガエル**

せなかの線が目の近くで曲がっている。  
タゴガエルよりも体は大きくなるが、同じぐらい  
の大きさであると区別は  
むずかしい。



**タゴガエル**

春は体がブヨブヨしている  
ためヤマアカガエルと  
区別できる。  
春以外では区別がむずかしい。

# ヒガシニホントカゲ

トカゲ科



子どもの体は黒色と黄色でしっぽが青色。大人になると茶色になる。

全身がツルツルしている。動きがとても速いため、つかまえるのはたいへん。



## 大きさ

♂ ♀ 150 ~ 240 mm

## 見られる場所

カエル池

## 見られる季節

春 夏 秋 冬

# ニホンカナヘビ

カナヘビ科



ざらざらとした茶色の体で、しっぽが長い。

春は日当たりのよい場所で、ひなたぼっこをしている。  
名前にヘビと付いているが、トカゲのなかま。



## 大きさ

♂ ♀ 160 ~ 270 mm

## 見られる場所

トンボビオトープB

## 見られる季節

春 夏 秋 冬

# ジムグリ

ナミヘビ科



林道を歩いているとたまに会う。どくはなく、手を出さなければにげていく。観察のみにしよう。せなかの色は地味だが、おなかの色は赤と黒でハデである。



## 大きさ

♂ ♀ 700 ~ 1000 mm

## 見られる場所

林道

## 見られる季節

春 夏 秋 冬

# シマヘビ

ナミヘビ科



黄土色の体に黒色の線がある。どくはない。しかし動きが速く、手をだすとかみつかれていたいため、観察だけにしよう。晴れた日は日向ぼっこをする。



## 大きさ

♂ ♀ 800 ~ 2000 mm

## 見られる場所

トンボビオトープA

## 見られる季節

春 夏 秋 冬

# ヒバカリ

ナミヘビ科



他のヘビより小さく、顔が  
とてもかわいらしい。水辺  
に近い林道でよく見られる。  
おとなしく、どくもないが  
見つけても、やさしく  
見守るだけにしよう。



## 大きさ

♂ ♀ 400 ~ 600 mm

## 見られる場所

林道

## 見られる季節

春 夏 秋 冬

# ニホンマムシ

クサリヘビ科



丸い輪っかのようなもようを持つため、すぐに分かる。どくがあるため見つけてもぜったいにさわってはいけない。見つけたらすぐにその場をはなれよう。



**大きさ**

♂ ♀ 400 ~ 650 mm

**見られる場所**

林道

**見られる季節**

春 **夏** 秋 冬

## 自動さつえいカメラでさつえいした ほにゅうるい

石川県立大学ビオトープ研究会では、くらかけ山にすんでいるほにゅうるいを調べるため、無人でさつえいができるカメラを置いています。2016年7月14日から2017年5月までに10種類をさつえいできました。そのうちの一部をここでしようかします。



ニホンイノシシ



ニホンカモシカ



ニホンノウサギ



ホンドタヌキ



ホンドギツネ



ホンドテン



ハクビシン



ニホンアナグマ

山に登っているときやビオトープで生き物をさがしているときにはなかなか出会うことができませんが色々なほにゅうるいがくらかけ山にすんでいます。こちらが気がついていないだけで、意外と近くにかくれているのかも…



生き物をさがしていると何やら草かげで物音がする。よく見てみるとカモシカが草を食べていた。運が良ければこういった出会いもある。

## ◆ さくいん

### — あ —

アオイトトンボ	11	クロアゲハ	43
アカハライモリ	55	クロスジギンヤンマ	21
アキアカネ	25	クロズマメゲンゴロウ	41
アズマヒキガエル	56	コオニヤンマ	22
オオアオイトトンボ	12	コカマキリ	34
オオイトトンボ	16	コノシメトンボ	26
オオカマキリ	35	コミスジ	48
オオコオイムシ	36		
オオシオカラトンボ	33		
オオルリボシヤンマ	18		
オニヤンマ	24		

### — か —

カジカガエル	64		
カワトンボのなかま	13		
キアゲハ	45		
キイトトンボ	15		
キタキチョウ	46		
キムネクマバチ	51		
ギフチョウ	44		
ギンヤンマ	20		

### — さ —

サワガニ	53		
シオカラトンボ	31		
シオヤトンボ	32		
シマヘビ	70		
シュレーゲルアオガエル	63		
ショウジョウトンボ	29		
ジムグリ	69		

— た —

タゴガエル・・・・・・・・・・59  
チャバネセセリ・・・・・・・・50  
テングチョウ・・・・・・・・47  
トノサマガエル・・・・・・・・61

— な —

ナツアカネ・・・・・・・・・・25  
ナミアメンボ・・・・・・・・・・38  
ナミハンミョウ・・・・・・・・40  
ニホンアカガエル・・・・・・58  
ニホンアマガエル・・・・・・57  
ニホンカナヘビ・・・・・・・・68  
ニホンマムシ・・・・・・・・・・72  
ニワハンミョウ・・・・・・・・39

— は —

ハッチョウトンボ・・・・・・28  
ハラビロトンボ・・・・・・・・30  
ヒガシニホントカゲ・・・・67  
ヒバカリ・・・・・・・・・・71  
ヒメゲンゴロウ・・・・・・・・42

ホトケドジョウ・・・・・・・・54

— ま —

マツモムシ・・・・・・・・・・37  
マユタテアカネ・・・・・・・・27  
ミヤマカワトンボ・・・・・・14  
ムカシトンボ・・・・・・・・・・17  
ムカシヤンマ・・・・・・・・・・23  
モリアオガエル・・・・・・・・62  
モンキアゲハ・・・・・・・・44

— や —

ヤマアカガエル・・・・・・・・60

— ら —

ルリタテハ・・・・・・・・・・49  
ルリボシヤンマ・・・・・・・・19

## ◆ さんこうぶんけん

- ◆ 梶真史（編）2013  
ポケット図鑑日本の昆虫1400 ①チョウ・バッタ・セミ  
文一総合出版
- ◆ 梶真史（編）2013  
ポケット図鑑日本の昆虫1400 ②トンボ・コウチュウ・ハチ  
文一総合出版
- ◆ 平嶋義宏 森本桂 多田内修（著）1989  
昆虫分類学 川島書店
- ◆ 川合禎次 谷田一三（共編）2005  
日本産水生昆虫 科・属・種への検索 東海大学出版会
- ◆ 前田憲男 松井正文（著）1989  
改訂版日本カエル図鑑 文一総合出版
- ◆ 森正人 北山昭（著）1993  
図説日本のゲンゴロウ 文一総合出版
- ◆ 森本桂（監）2007  
新丁原色昆虫大図鑑第Ⅱ巻（甲虫篇） 北隆館
- ◆ 日本直翅類学会（編）2016  
日本産直翅類標準図鑑 学研
- ◆ 日本チョウ類保全協会（編）2012  
フィールドガイド日本のチョウ 和光堂
- ◆ 奥山風太郎（著）2015  
日本のカエル+サンショウウオ類 増補改訂 山と溪谷社
- ◆ 尾園暁 川島逸郎 二橋亮（著）2012  
ネイチャーガイド 日本のトンボ 文一総合出版
- ◆ 千石正一 疋田努 松井正文（編）1996  
日本動物大百科第5巻 両生類・爬虫類・軟骨魚類 平凡社

- ◆ 豊田幸詞 関慎太郎（著）2014  
日本産淡水性・汽水性甲殻類 102種 日本の淡水性エビ・カニ 誠文堂新光社
- ◆ 財団法人リバーフロント整備センター（編）1996  
フィールド総合図鑑川の生物 山海堂

## ◆ 写真をとった人

前田大成 水田陽斗

高橋昌里（2017年卒業）谷穂乃歌

筒井颯

## ◆ イラスト

池川卓弥 山中歩美

